

議会のあり方調査特別委員会 政策等検討分科会 記録

開 会 年 月 日 令和 7 年 8 月 18 日

開 会 時 刻 午前 9 時 58 分

閉 会 時 刻 午前 11 時 10 分

出席委員名 ◎辻 孝記 ○大西要一 中村 功 鈴木豊司
楠木宏彦 宿 典泰

欠 席 委 員 名 西山則夫

署 名 者 ー

担 当 書 記 奥野進司

協議案件 1 予算・決算審査のあり方について
・予算・決算審査方法検討資料について
・管外行政視察の振り返りにについて
2 次回の分科会について

説明員 奥野議事係長、森田書記

会議の概要

辻会長が開会を宣告。その後、直ちに会議に入り、「予算・決算審査のあり方について」を議題とし、「予算・決算審査方法検討資料について」及び「管外行政視察の振り返りについて」協議を行った。

続いて、次回の分科会についてを議題とし、次回、これまでの当分科会の取組、これから検討・協議が必要な事項の意見をいただき、改選後の体制に引き継ぐため、8月25日産業建設委員協議会後を開くことを確認し、会議を閉じた。

なお、詳細は以下のとおり。

協議の内容

1 予算・決算審査のあり方について

・ 予算・決算審査方法検討資料について

これまで政策等検討分科会で検討を行ってきた「予算・決算審査のあり方について」、奥野議事係長から、議会のあり方調査特別委員会に報告すること、また改選後に審査方法を決めるため資料をまとめたこと、また、その資料について、1ページは新伊勢市になってからの予算・決算審査の審査形態、2ページは、それを表で表したもの、3ページから7ページは、「分科会方式」「13名程度の特別委員会方式」「役選時にグループ分けする方式」「予算・決算審査を連動させた2グループ方式」について、審査方式、審査範囲、審査の流れ、特徴に分け表記していること、8ページには令和8年3月定例会、9月定例会での審査日程案を記載していることの説明があり、委員から下記のとおり意見があり、修正することを確認した。

【委員からの意見による修正箇所】

- ・ 1ページ①では「(本予算)」、2ページでは「本格予算」となっているため、1ページを「(本格予算)」に修正。
- ・ 1ページ②「ドント方式による特別委員会へ審査付託」に人数を追記し、「ドント方式による13名の特別委員会へ審査付託」に修正。
- ・ 1ページ③の四角で囲まれた部分、9月に審査した審査に対し、翌年3月に審査する予算の年度が1年飛ぶためため、予算・決算の年度を入れるよう修正。
- ・ 2ページ予算・決算審査の推移の表について、H17年の欄、「12月議会」を「12月定例会」に修正。
- ・ 2ページH23～25の備考に議員定数を入れる。
- ・ 2ページH28、H29～R7の決算審査欄、「3月定例会 3分科会方式」を「9月定例会 3分科会方式」に修正。
- ・ 3ページ「各審査形態の特徴」について、表記内容が特徴だけでないため、「各審査形態」に修正。
- ・ 3ページ以降の「④特徴」でメリット、デメリットと区別していることについて、区別せず、「分科会委員からの発言」として列挙する形に修正。
- ・ 4ページ(2)13名程度の特別委員会方式の①審査方式に委員の選定の仕方を記載。

- ・ 4 ページ (2) 13 名程度の特別委員会方式において、会派での委員の選出の仕方、予算・決算審査を連動させた審査ができることを「④特徴」に記載。
 - ・ 5 ページ (2) 13 名程度の特別委員会方式、6 ページ (3) 役選時にグループ分けする方式の「④特徴」の「経験の浅い議員にとっては議論の仕方なども含め参考になり」について、経験の浅い議員に限られることではないため、「経験の浅い議員にとっては」を削除。
 - ・ 5 ページ (3) 役選時にグループ分けする方式、①審査方法について、監査委員は決算審査に入ることになるため、「議長を除く全議員」の後に「(監査委員は予算を審査するグループに限る)」を追記。
 - ・ (4) 予算・決算審査を連動させた 2 グループ方式について、決算審査を踏まえた予算審査が期待 3 年目まで続かなかったのは問題があったため、次期議会に引き継いでいくことはどうか、固定されたメンバーとなることはどうかとの意見などがあり、削除。
 - ・ 三重県下の審査形態の状況をまとめ、一覧として追加。
- ・ 管外行政視察の振り返りについて
- 辻会長から、滋賀県湖南市、岐阜県関市での視察を踏まえ、「予算・決算審査」について意見を求めたところ、委員から下記のとおり意見があり、「予算・決算審査方法検討資料」に反映できるものについては、反映させることとし、また、全議員で予算・決算審査を行う方式については、「予算・決算審査方法検討資料」に加えることを確認した。

【意見】

- ・ 楠木委員…… 関市は予算審査について、議長を除く全議員による特別委員会での審査をしている。全ての議員が予算について把握するため、全員参加になったとのこと。そのような考えもあるということで、非常に有効な中身であった。
- また、各議員が決算（事業）について評価をするために、勉強会を開催し、議論をしていることについて、有効なやり方でないかと感じた。
- ・ 中村委員…… 目新しいこと、伊勢市に取り入れることができることはないと感じた。ただ、湖南市の予算常任委員会、決算常任委員会の任期を 2 年としていることについて、最近、伊勢市においては任期について議論をしていないため、これからは意識をする必要があると感じた。
- 関市の予算審査で、全員が委員会の中で説明を受けてから審査に入るという形については、説明の内容が浅かったため、三重県議会の予算説明を 1 日かけて行っていることを参考にし、議論しくことができると感じた。
- ・ 大西副会長…… 関市の予算審査での、全員が委員会の中で説明を受けてから審査に入るという形は伊勢市と異なるため、新しく感じ、興味を持った。

- ・鈴木委員…… 関市の全員での予算審査について、伊勢市ではどれだけ時間がかかるのかということもあるが、新たな方法のため、予算・決算審査方法検討資料に入れてはどうか。
- ・宿委員 …… 全員で審査をするには、場所の問題、部単位での審査がうまくできるのか、部を超えて連携をしている事業などの審査には課題があると思うが、全員が予算を確認するということは大事なことだと感じた。
- ・辻会長 …… 関市では重要事業について質疑をしているというのが特徴であった。また、伊勢市のような会派での勉強会の場合、少ない人数であると聞けない部分が出てくるが、全議員が同じ状況で説明を聞くというのは大事なことだと感じた。

2 次回の分科会について

8月25日月曜日、産業建設委員協議会閉会後に開くことを確認した。

上記署名する

令和7年8月18日

会 長